

- 滞在・回遊型観光コンテンツの強化を図るため、秋穂地区の八十八か所お遍路や車えび狩りなど既存の資源を活かしたプログラム整備をし、宿泊者数の増加を推進。
- 山口県立大学との連携により、八十八ヶ所霊場の文化やお接待料理を学ぶ日帰りツアーを企画し、さらに、事業構想大学院大学との連携により、ランナーズビレッジの事業化を実施。

【地域の概要】



＜地域の特徴＞

- 車えび養殖の発祥の地。
- 230年以上続く「秋穂八十八ヶ所霊場」の札所を有する。
- 高齢化や人口減により、札所の維持が困難になりつつある。

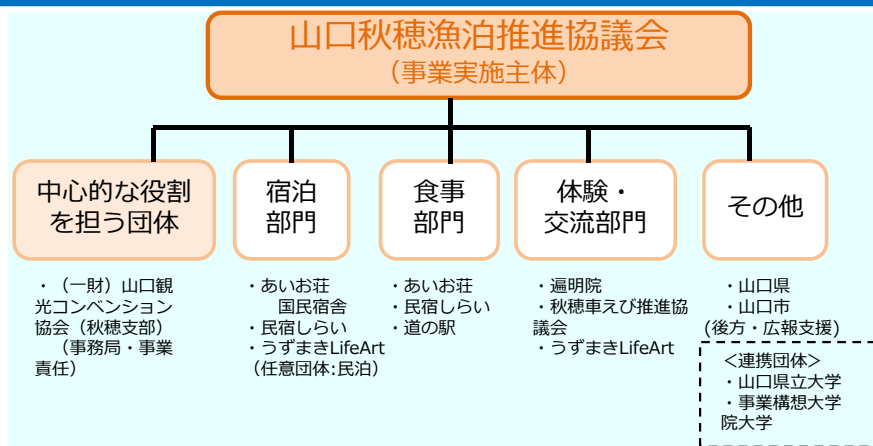


遍明院



岩屋山地蔵院

【実施体制】



＜協議会設立の経緯＞

- 地域で守ってきたお遍路を構成する札所の維持が、高齢化や人口減により困難である一方、山口観光コンベンション協会秋穂支部の活動資金だけでは対応できない状況にあった。
- 地域おこし協力隊の一人が、御大師参り(地域の人達が札所を回る参拝者をもてなす行事)に感銘を受け、この文化を守っていくことを山口県立大学と連携し地域の人達に働きかけ。
- これを受け、山口観光コンベンション協会秋穂支部を中心として地域の歴史的文化を守るために農泊事業の取組に着手。

＜運営体制＞

- 行政や地域の漁業者のほか、秋穂八十八ヶ所霊場を創設した遍明院からも住職が参画し、地域一体となって事業を推進。山口県立大学との連携により日帰りツアーを企画する。
- さらに、事業構想大学院大学と連携しランナーズビレッジの事業化を実施。



勉強会

【取組内容】

＜宿泊＞

- 新鮮な車えび料理でもてなす民宿が点在し、主に国民宿舎「あいお荘」(収容人数約100名)にて受入。宿泊施設数を増やすため、民泊セミナーを実施し、農家民泊の増加に取り組む。



あいお荘

＜誘客コンテンツ＞

- 事業構想大学院大学と連携し、ランナーズビレッジ構築に向け、5つのランニングコースの整備に取り組む。ランニングと宿泊をセットにして売り出し、通年での実施を目指す。
- 山口観光コンベンション協会にて、毎年夏、「あいおえび狩り世界大会」を開催。H29の応募総数は5万人を超え、全国各地からのほか、海外からも参加。今後は、本大会を宿泊とセットにして売り出すことを検討中。



ランナーズビレッジ



あいおえび狩り大会

＜特徴的な取組＞

- 山口県立大学と連携し、秋穂八十八ヶ所霊場にて、地域が受け継いできたお接待の料理を学び、味わう日帰りツアーを開発。これまで全2回開催し、今後は通年での開催を目指す。

- 初めてでも安心して御大師参りに参加できるよう、「案内所」を設置するとともに、巡礼グッズ(マップ、お賽銭用小銭等)を整備。



御大師参り



お大師参り案内所